

看護職 キャリアラダー

ラダーステップ		ステップⅠ	ステップⅡ	ステップⅢ	ステップⅣ	ステップⅤ
卒業年次のめやす		卒業1年目	卒業2年目	卒業3～4年目	卒業5年以上	役職者
業務遂行の目安 学習内容		必要に応じ、助言を得ての「原理原則に則った」看護実践	自立的で「原理原則に則った」看護実践	応用的で柔軟な業務実践	組織レベルの問題解決的業務実践	職能や地域への拡がりをもったマネジメント
（クリニカル能力ラダー）	倫理的・個別的で最適な、看護過程の展開能力	倫理的・個別的な看護過程（観察・情報収集・計画立案・評価と修正）を展開する	倫理的・個別的で、最適な看護過程を追究し、展開する		「倫理性」「個別性」「最適性」の視点で、看護過程の展開を評価・改善する仕組みを構築する	
	看護ケアの実践力	以下の視点をもって、支援を受けながらケアを実践する ①看護倫理 ②最新の専門知識の習得 ③尊厳と意志の尊重 ④看護技術の正確さ ⑤安全・安楽 ⑥スピード ⑦看護記録 ⑧多重課題への対応 ⑨チームワーク（リーダーシップ・メンバーシップ） ⑩シフト業務の遂行 ⑪批判的・創造的思考力	以下の視点をもって、自立的にケアを実践する ①看護倫理 ②最新の専門知識の習得 ③尊厳と意志の尊重 ④看護技術の正確さ ⑤安全・安楽 ⑥スピード ⑦看護記録 ⑧多重課題への対応 ⑨チームワーク（リーダーシップ・メンバーシップ） ⑩シフト業務の遂行 ⑪批判的・創造的思考力	以下の視点をもって、模範的にケアを実践する ①看護倫理 ②最新の専門知識の習得 ③尊厳と意志の尊重 ④看護技術の正確さ ⑤安全・安楽 ⑥スピード ⑦看護記録 ⑧多重課題への対応 ⑨チームワーク（リーダーシップ・メンバーシップ） ⑩シフト業務の遂行 ⑪批判的・創造的思考力	自病院の看護実践の評価・改善システムを構築するとともに、地域全体で継続的に看護の質を保証するための方策を、立案し提言する	
自己教育力 人材育成能力		成人学習論の理解と、主体的学習の意識の実践	成人学習論の理解と、主体的学習の習慣化	成人学習論による、後輩・実習生・研修生への教育的支援の実践		自病院の人材育成に関する方針を策定し、教育体制を整備する
レジリアンス能力 ストレス対処能力		心理的基盤としての、自尊感情・自己効力感の意識化	心理的基盤としての、自尊感情・自己効力感の意識化と向上	心理的基盤としての、自尊感情・自己効力感の意識化と向上		レジリアンス能力およびストレス対処能力の向上を目指す、組織的支援体制を整える
職場適応（他者理解と関係構築）・交渉力		他者理解へのコミュニケーション力の意識化	他者理解・関係構築へのコミュニケーション力の意識化と向上	他者理解・関係構築・協働力・交渉力の向上		職場適応の促進と組織体制強化に向けた、交渉力の向上を図る
他部署理解と部門間連携推進への関与力		病院内各部署の役割と機能を、自部署の看護業務と関連付けて知る	病院内各部署の業務と、自部署の接点業務について、その「あり方」を考える	部門間連携の「あるべき姿」に向けて、課題をもって、アクションを起こし、成果を得る		組織体制強化に向けて、院内の連携体制を、向上させる
危機管理能力		①基準・手順を遵守した業務実践と曖昧部分の確認 ②自部署に関連する事故や問題を知り、自身の業務状況と関連付けて意識化する	①基準・手順を遵守した業務実践と曖昧部分の確認 ②自部署に多い事故や問題を知り、回避行動を実践する	①自部署で発生した事故や問題の原因究明を行い、業務プロセスの分析、基準・手順の見直しを行い、再発防止策を立案し、効果を確認する ②自病院における危機管理体制の整備に参画し、災害発生に備える		災害発生時の、自病院の役割を認識し、地域に期待される、組織的対応がとれるよう、危機管理体制を整える
経営資源の有効活用と課題発見・課題解決力（研究遂行能力）		5つの経営資源（ヒト・モノ・カネ・情報・時間）と自身の業務状況を関連付け、経営的視点を意識化する	5つの経営資源と自身の業務状況を関連付け、経営的視点から自己の課題を意識化する	5つの経営資源に照らし、職場の課題を明らかにし、小グループ活動のリーダーとして、PDCAサイクルを効果的に回し、課題解決を図る（ミドル・アップ・ダウンの役割遂行・OODAループの活用・研究遂行能力の獲得）		組織全体の視点に立ち、課題の明確化と解決策の立案・実施により、成果を出す 地域への発信および政策提言の視点をもつ